



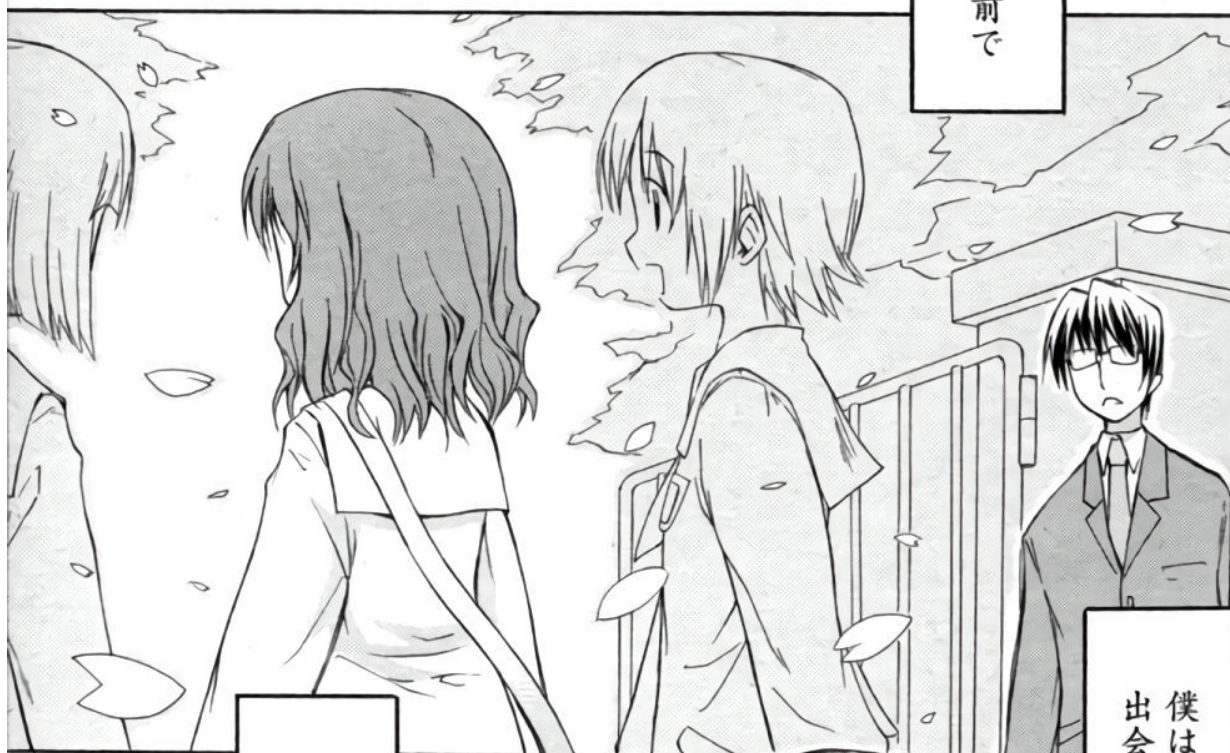
おはよう

おはよう
ございます

おはよう
ございます

あの始業式の日

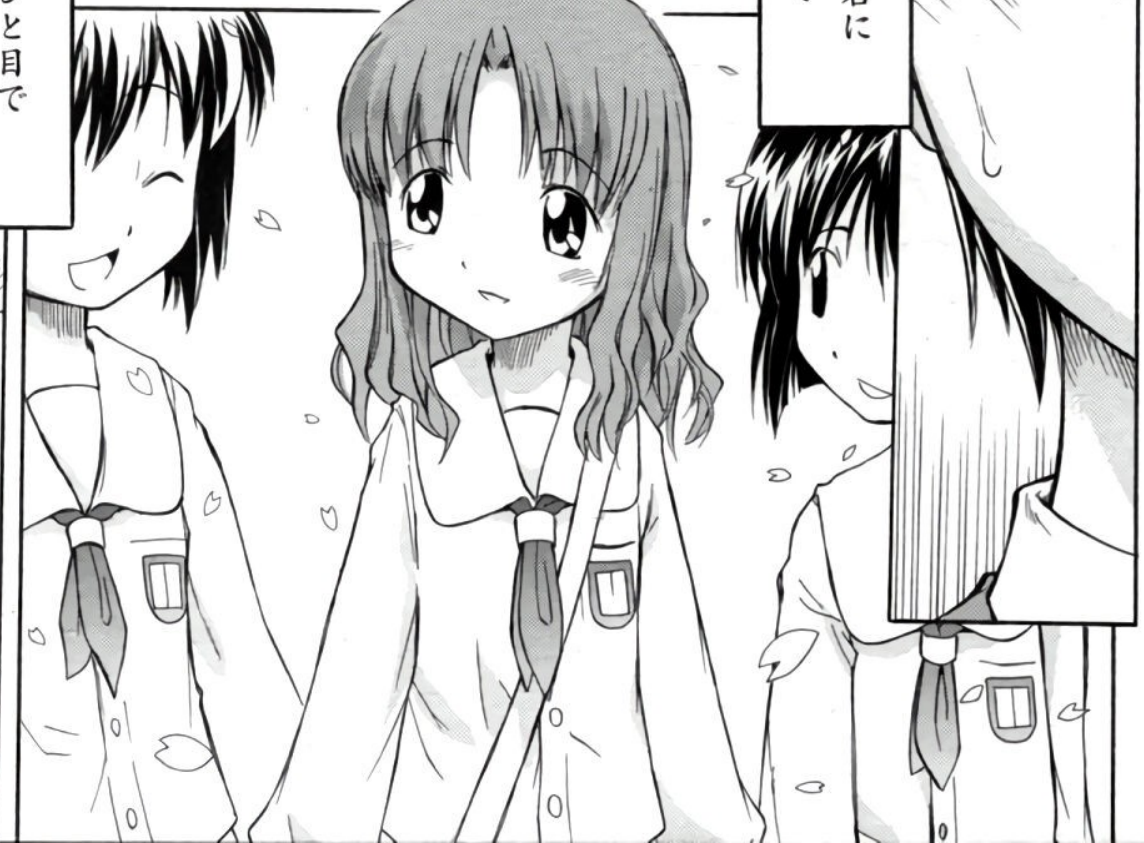
桜の花咲く校門の前で



僕は君に
出会う

ひと目で
恋に落ちた

あんな子が……
うちの学校に……
いたの……か……



一方的ラブロマンス

山本雲居



えっと…
趣味はピアノと
読書です

弧原桃子です

3月にこっちに
引っ越してきました

よろしく
お願いします

そうか

春休みに転校して
きた子というのは
あの子だったのか……

モモコ
なんて愛らしい名前
美しい響き

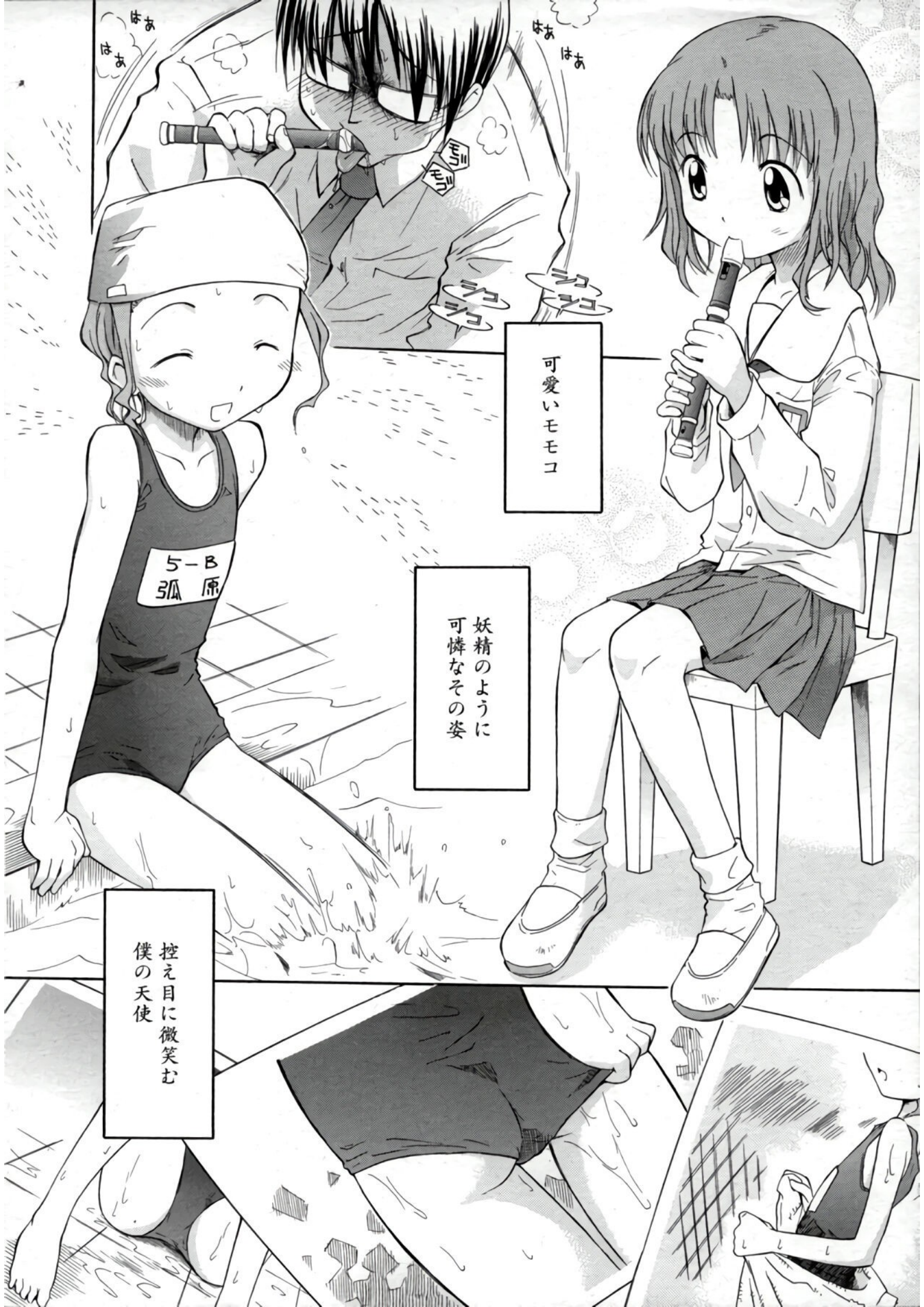
モモコちゃんか…
かわいいなあ……

そうか…
俺のクラスか……

この日から
僕たちの運命は
まわり始めた

これが運命と
いうやつなのか!

YES!



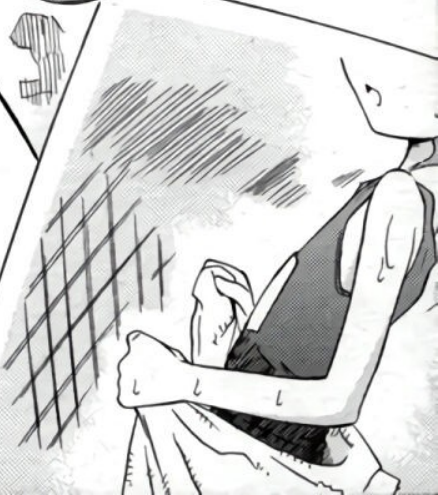
はた
はた
はた

はた
はた

可愛いモモコ

妖精のように
可憐なその姿

控え目に微笑む
僕の天使





君と過ごす毎日が

僕にとって
至福の時間

ん〜

至上の宝物……

ん？ 弧原
何かな？

あのー先生



引っ越し!?



驚愕 混乱
呆然 絶望

せ先生?
どうしたんですか!?

あああ
ごめん……

目にゴミが
入ったんだ
なんでもないよ
そうかいイギリスに……

激しい感情の波が
僕を翻弄する



なあ:
弧原

はい

悪いんだけど
少し手伝ってほしい
ことがあるんだ
いいかな?

だめだ

あ?
はい



社会科準備室

社会科準備室って
初めて入りました

まあ物置き
みたいな場所だから

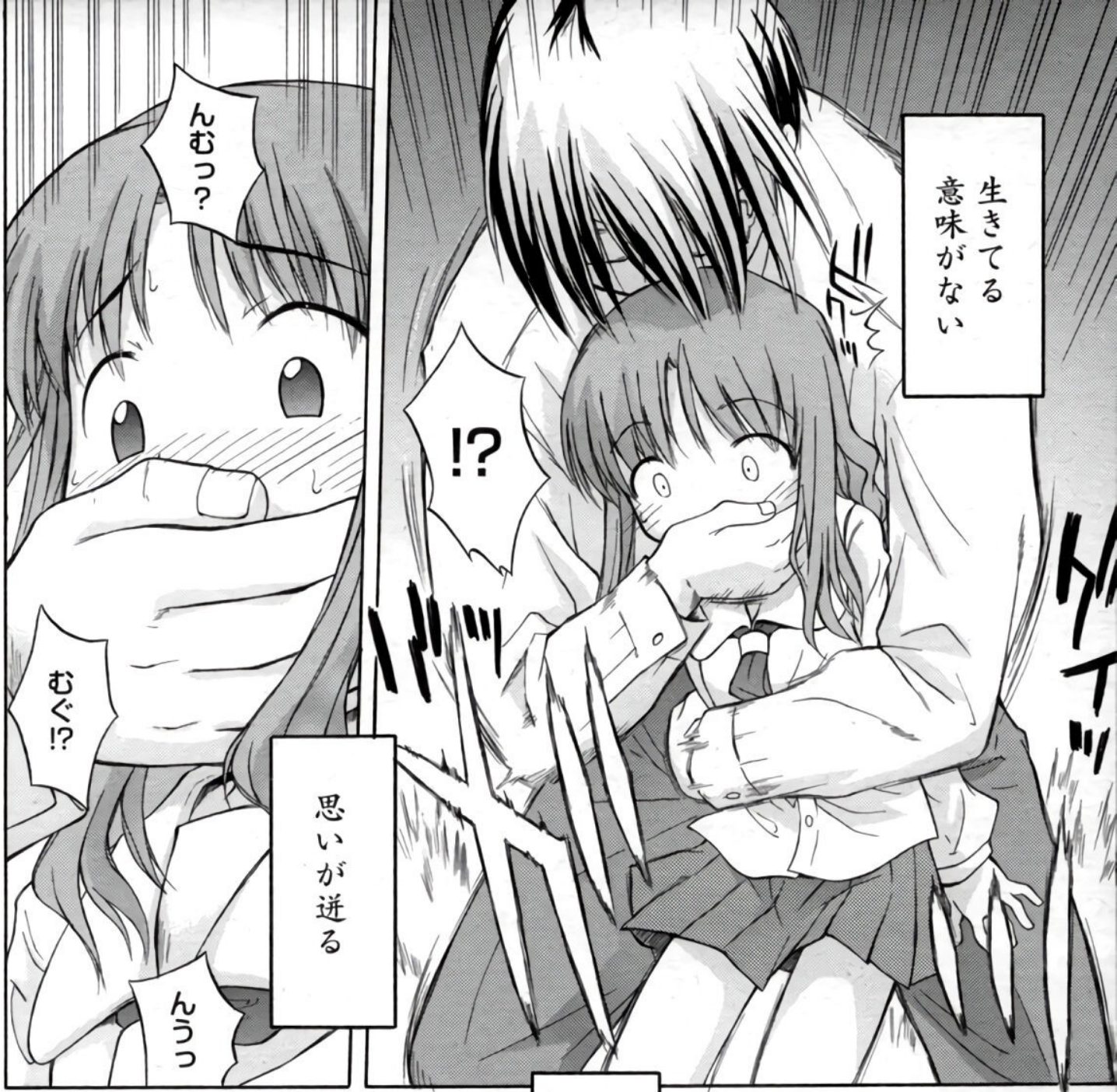
君がいなくちゃ
僕はだめになる



あの何を
手伝うんですか?

君のいない
世界なんか

だいぶホコリが
積もってるね



生きてる
意味がない

!!?

思いが逆る

んっっ

んっっ



幾度も夢に見た
禁断の肢体

んっっ!?

花のような芳香

んっっ!?

んっっ

んっっ

艶やかな唇
桃色の花卉

めいっ!

僕は花に吸い
寄せられる虫だ

んおっ

桃子の蜜

桃子の味

荒い吐息が
僕の脳を痺れさす

んっっ!?

んっ

んっ

んぐっ

んうー

ゴッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっっ?



んんんッ

モモたんの
パンツごしにスマタ
できるなんて……

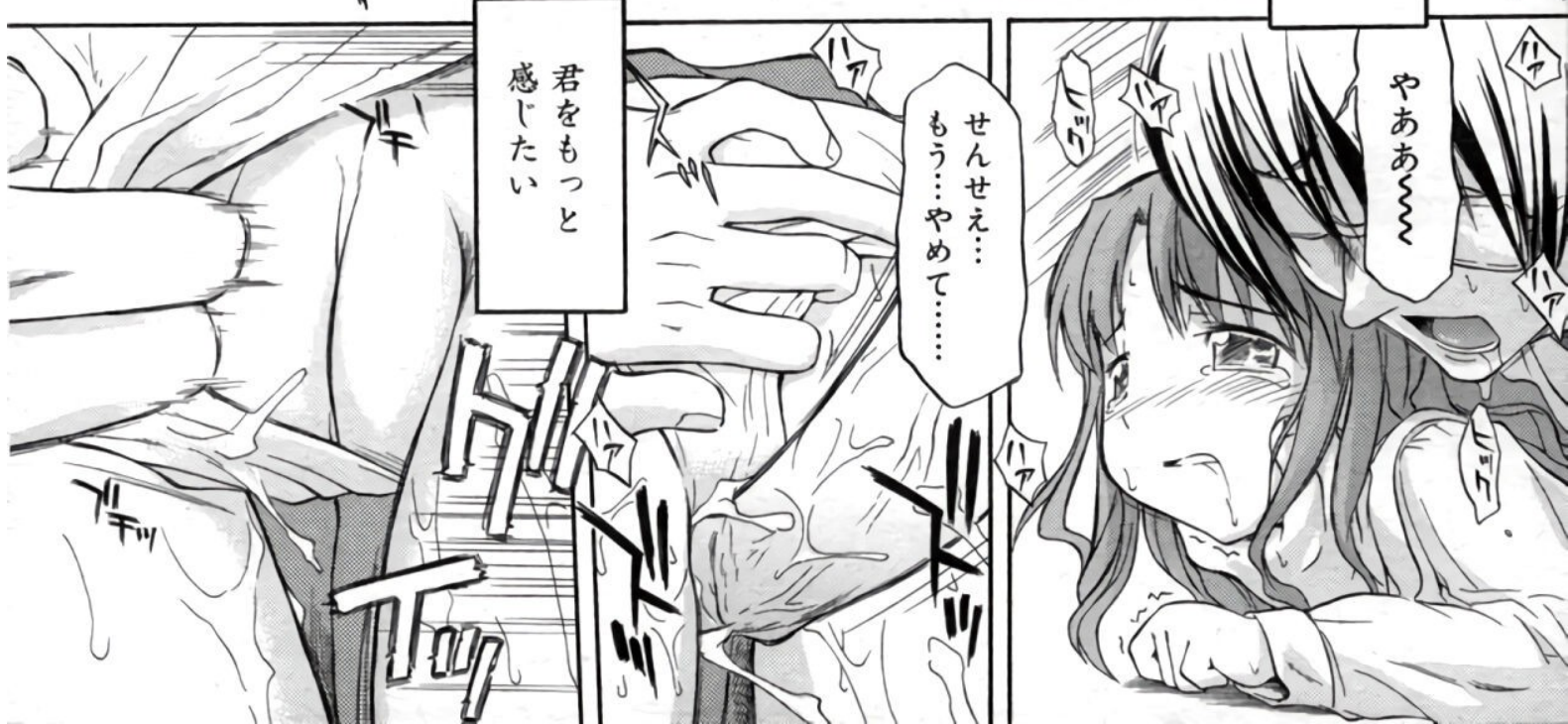
もつと僕を
感じさせてくれ

ああ……
なんて幸せなんだ



至福の絶頂の
なかで

幸せだあ~~~~



やああ~~~~

せんせえ……
もう……やめて……

君をもつと
感じたい



えり?

ハア

膜……

ついに



ハア

俺……

モモたんの

もつと



ハア

ああ……

ハア



あああ

や

痛っ

やぶるよ

あああ
あああ
あああ

ひとつに



深く

モモたんの
中に……

奥までっ
届っ……

深く

あああ



まじりあう



ふうっ

出るっ

やあ…

出るっ

やあ

全身を伝播する
凄まじい快感

やっ



きもちっ

よすぎっ



んっ

んっ

麻薬のように
僕を捕らえて離さない



とまらない

まっ まだ

まだ出し足りないよモモたん

もっと

もっと
愛し合おう

先生の子供を
産んでくれ

けっ…

結婚してくれ!

好きだーっ

いつまでも

こうして
一緒にいたい

モモたん——っ

やっ

ハア

ハア
っあ

ハア



モモコ

桃子



好きだ

僕の

愛してる



僕のモモコ

あっ

っあ

ふあ

モモコ——ッ

っあ
ああああ...

っあ

っあ

っあ

っあ

駆け落ち
しよう

南の島へ

2人だけの
樂園へ

もうしばらく
我慢してね

モモたん

誰も僕たちを
引き離すことなんか
できない

こおわりっ



Decensorer: 工口之魂